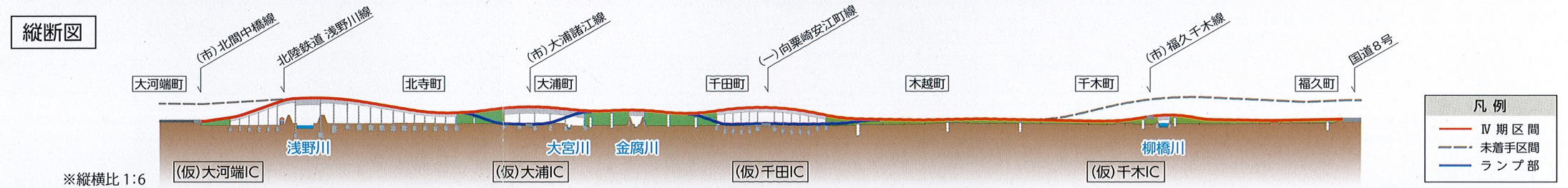
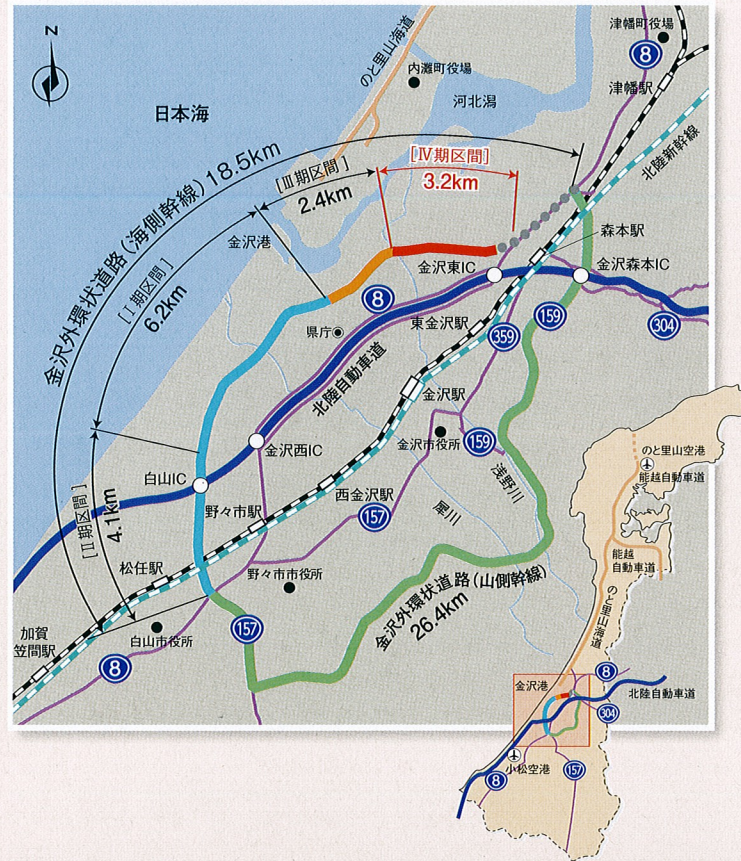


# 海側幹線 [ IV期区間 ]

『人』や『もの』の交流を盛んにし、活力を育む

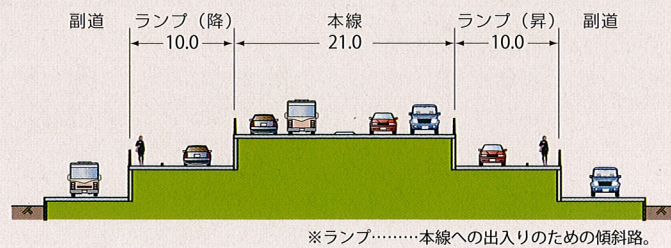
金沢外環状道路海側幹線は、平成18年に全線供用した山側幹線と一体となって金沢都市圏の骨格を形成し、交通の円滑化を図る重要な幹線道路です。加賀・金沢・能登を連結し、広域交流を促進するとともに、金沢港などの物流拠点へのアクセス強化を図ります。



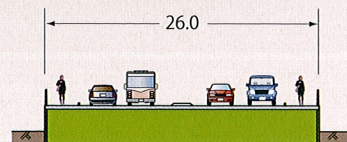
## 事業概要

- 路線名：金沢外環状道路海側幹線
- 道路幅員：26.0～60.0m
- 車線数：4車線
- 道路区分：第3種第2級
- 設計速度：60km/h
- 起終点：金沢市大河端町～福久町
- 車線数：4車線
- 道路区分：第3種第2級
- 設計速度：60km/h

### ● 断面図 [A-A' 断面] (単位：m)



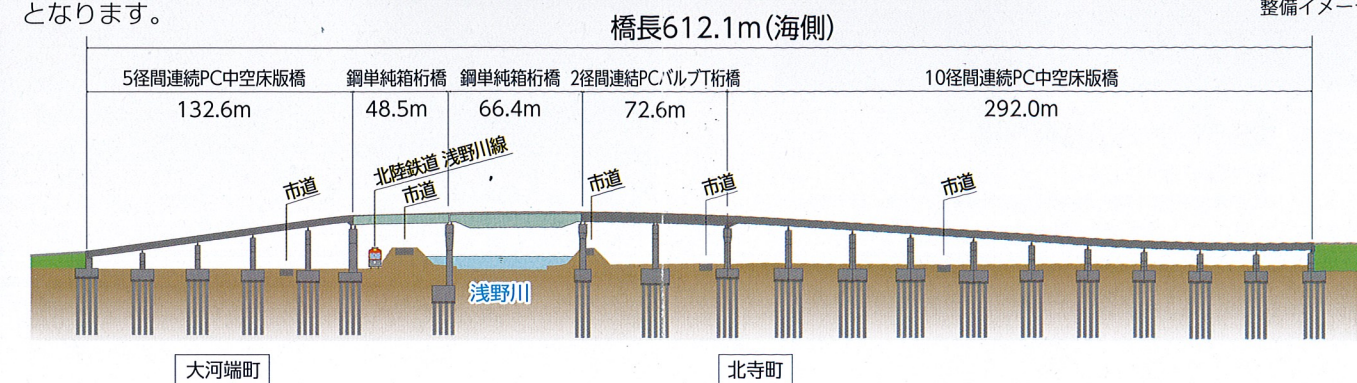
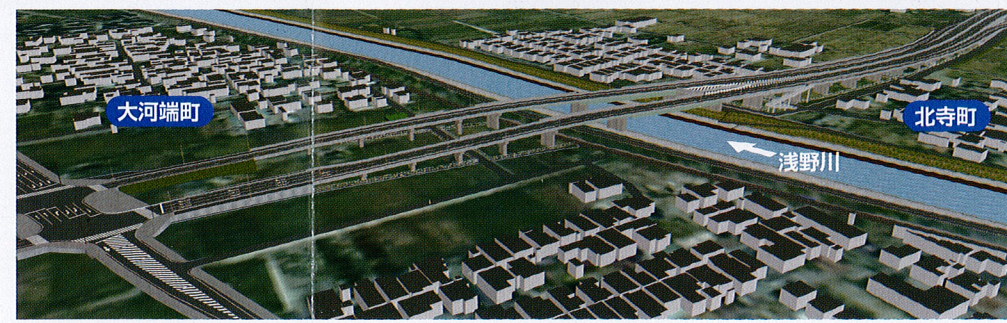
### ● 断面図 [B-B' 断面]



## IV期区間の特徴

### (仮称) 浅野川橋梁

浅野川や北陸鉄道を跨ぐ約600mの橋梁で、軟弱地盤対策と周辺環境に配慮した計画となっています。完成すれば能登島大橋、内日角高架橋に次ぐ県管理道路で3番目の長さの橋梁となります。



## 軟弱地盤・液状化対策

IV期区間には、軟弱地盤が厚く堆積しているため、道路盛土の沈下や地震時の液状化対策として、地中の土とセメントを混ぜた柱状・格子状の改良体を構築(深層混合処理工法)し、地盤の安定を図ります。

